

Q0-1. 立野ダムは、平成24年7月の九州北部豪雨に対してどのような効果があるのでしょうか。

○ダムの効果はダム直下から発現するため、立野ダムの場合、ダム直下の大津町・菊陽町及び熊本市において水位低減効果があります。

○仮に立野ダムが完成していた場合、平成24年7月洪水における水位低減効果を推算すると、国管理区間の平均で約40cm、県管理区間の平均で約60cmとなります。(表-1)

○詳しい資料については[こちら](#)に掲載しています。



写真－1 代継橋付近 [12k200] 水位低減

表－1 平成24年7月洪水時の立野ダムの水位低減効果量推算値

市町村	区間	水位低減効果（平均）
熊本市【国管理区間】	八城橋※～小碓橋	約40cm
熊本市【県管理区間】	小碓橋～みらい大橋	約60cm
菊陽町【県管理区間】	みらい大橋～空港大橋	約60cm
大津町【県管理区間】	空港大橋～ダム下流	約65cm

※国管理区間の範囲については現在、緊急対策特定区間として河川改修を集中的に実施している八城橋から上流で算出しています。

※水位低下量の算出については、現時点で推算しているものであり、今後変わることがあります。